

(仮訳)

## プレス・リリース

2024年2月29日

バーゼル銀行監督委員会（以下「バーゼル委」）は、「実効的な銀行監督のためのコアとなる諸原則」の改訂に合意し、G-SIB 枠組みにおけるウィンドウ・ドレッシングへの対処について市中協議し、バーゼルⅢの実施に対する期待を再確認。

- バーゼル委は、「実効的な銀行監督のためのコアとなる諸原則」（バーゼル・コア・プリンシプル）の改訂を承認。
- グローバルなシステム上重要な銀行の枠組みに関して、一部の銀行によるウィンドウ・ドレッシング行動に対処するための潜在的な対応について市中協議を行うことを決定。
- バーゼルⅢの全ての要素を完全かつ統合的な形で、かつ可能な限り早期に実施することへの期待を再確認。

バーゼル委は、2024年2月28-29日にマドリードで会合を開催し、最近の市場の動向やグローバルな銀行システムに対するリスクについてストックテイクするとともに、政策及び監督上の様々な取組みについて議論した。

### グローバルな銀行システムに対するリスクと脆弱性

バーゼル委は、最近の経済及び金融市場の動向に照らして、グローバルな銀行システムの見直しについて議論した。バーゼル委は、商業用不動産のセグメントを含む逆風に直面しているセクターから生じる銀行に対するリスクについて議論した。また、メンバーは、拡大しているプライベート・クレジットの役割を含む、銀行とノンバンク金融仲介（NBFI）との相互連関についても議論した。銀行及び監督当局は、これらの分野で生じつつあるリスクに引き続き警戒を続ける必要がある。

### バーゼル・コア・プリンシプル

バーゼル委は、バーゼル・コア・プリンシプルの見直しに関する[市中協議](#)でのコメントについて議論した。幅広いステークホルダーから寄せられた意見を踏まえ、コア・プリンシプルの最終的な改訂を承認した。この改訂は、2012年の前回の見直し以降の監督上の知見や銀行システムの構造的変化を踏まえたものである。最終的な基準は、2024年4月24-25日に開催される銀行監督者国際会議

(ICBS) の後、公表される予定である。

## グローバルなシステム上重要な銀行とウィンドウ・ドレッシング行動

バーゼル委は、[前回会合](#)での議論を踏まえ、グローバルなシステム上重要な銀行 (G-SIBs) の枠組みに関して、一部の銀行によるウィンドウ・ドレッシング行動に焦点を当てた幅広い実証分析を検討した。このような規制上の裁定行動は、[G-SIB スコア](#)の報告や公表に用いられる基準日付近で、認識された銀行のシステム上のフットプリントを一時的に低下させようとするものである。

バーゼル委が[先に](#)指摘したように、銀行によるウィンドウ・ドレッシングはバーゼル委の基準が意図する政策目標を損ない、金融市場のオペレーションを混乱させるリスクがある。このため、バーゼル委は、ウィンドウ・ドレッシング行動の抑制を目的とした潜在的な対応について市中協議を行うことに合意した。市中協議文書および実証分析をまとめた付属のワーキング・ペーパーは来月公表される予定である。バーゼル委はまた、過去 10 年間の G-SIB スコアのダイナミクスの評価に関するワーキング・ペーパーを公表することにも合意した。

## 気候関連金融リスク

バーゼル委は、気候関連金融リスクに対処するための包括的なアプローチの一環として、銀行のビジネスモデル、戦略及び全体的なリスク・プロファイルについて、一連の蓋然性のある気候関連の経路に対する強靭性を評価する上でのシナリオ分析の役割について議論を行った。メンバーは、シナリオ分析の分野は動的に変化しており、その実務は気候に関する科学の進歩に伴って急速に発展することが予想されると述べた。バーゼル委は、この分野における将来の潜在的な取り組みに資するため、既存の監督上の原則に基づき、銀行及び監督当局による気候シナリオ分析の利用に関するディスカッション・ペーパーを公表することに合意した。このディスカッション・ペーパーは、今後数ヶ月のうちに公表される予定である。

## バーゼルⅢ改革の実施状況

バーゼル委は、2017 年に最終化されたバーゼルⅢ基準の実施状況を調査した。バーゼル委メンバーは、依然として一様ではないものの、実施に関して良好な進展を続けている。バーゼルⅢの枠組みの全ての要素を完全かつ整合的な形で、かつ可能な限り早期に実施することへの期待を全会一致で再確認した。また、バーゼル委の[規制の整合性評価プログラム \(Regulatory Consistency Assessment Programme\)](#)の一環として、各法域におけるバーゼルⅢ基準の実施状況を評価す

るための作業計画を承認した。